

一般社団法人 千葉県社会福祉士会
2021年度 第4回理事会議事録

1. 開催日時 2021年9月5日(日) 10:00~12:09

2. 会場 ZoomによるWeb会議

3. 出席者 (全員Zoomによる参加)

理事 17名、監事 2名、相談役 2名、

会長 渋沢

副会長 宮本、古澤

事務局長 樽林

事務局次長 堀江、及川

会員理事 (総務委員会 企画部会) 秦野

(総合相談委員会) 谷口、前田

(研修委員会) 長嶋

(ぱあとなあ委員会) 四ノ宮

(司法福祉委員会) 宮下

(災害対策委員会) 服部

外部理事 若林、片山、葛田、山田

監事 山口(定)、市原

相談役 岡本(武)、常陸谷

欠席 山口(利)、安藤、山下

敬称略

4. 議題

(1) 会長と三役会からの報告

- ・ 第8期虐待対応専門研修～アドバイザーコース～【前期】 受講者推薦について

(2) 議事

- ① 「魅力ある会づくり」についての意見交換について
- ② 事業と予算のあり方検討委員会の報告書について

(3) 各委員会報告事項に対する質疑

(事前資料によりご確認ください)

5. 議事録

○ 出席者の確認

事務局次長より、現在、Zoomによる出席者 21名 定款第34条により定足数に達しており、本理事会は成立すると報告

また、Web 会議システム（Zoom）により、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認されて、議案の審議に入った

事務局次長：

三役会は会長、副会長、事務局長、事務局次長で構成されている。なお、本理事会には相談役にもご出席いただいております、必要に応じご発言いただく

それでは、会長より開会挨拶をお願いする

○ 会長から開会挨拶

- ・ だいぶ涼しくなってきた。休日の午前中にお時間をいただき感謝する
- ・ 今回の理事会では、新入会の若年会員に対する支援など、皆さまからアイデアを出していただく時間を長めに設けているので、ご議論いただきたい

○ 三役会報告

第8期虐待対応専門研修～アドバイザーコース～【前期】受講者推薦について

説明：総合相談委員長

- ・ 前回理事会で、研修受講料の当会負担を承認いただき、その後、三役と総合相談委員会担当理事で募集方法を検討し、次のとおり対応したことを報告する
- ・ 8/10～8/16 当会 HP にて、当該研修参加とその後の高齢者虐待対応チーム員活動への参加を条件に受講者を公募した
- ・ 8/18 に三役と総合相談委員会担当理事で協議し、応募者から3名（東葛地区1名、安房地区1名、茂原・いすみ地区1名）を選定した
- ・ 8/20 日本会へ受講申し込みを行い、9/1 に3名とも受講可能と連絡があった
- ・ 即日、担当理事から応募者へ通知した。10月から研修開始となる

質疑なし

事務局次長：

以上で三役会からの報告を終了する

会長あいさつのおり、今回は各委員会報告に先立ち議事を行う

○ 議事

① 「魅力ある会づくり」についての意見交換について

事務局次長：

議題に関する理事の皆さまの率直なご意見を伺うため、ブレイクアウトルームで3グループに分かれてグループ討議をお願いする

討議後に各グループの代表者から3分程度で報告していただき、全体共有とまとめ、というタイムスケジュールに沿って進めたい

説明：会長

- ・ 30代以下の会員の会費減免に併せて、新規入会者が会の活動に前向きに参加してもらえるような取り組みを各委員会や会全体で進めていきたい。是非、多様なアイデアを出していただきたい

：副会長

- ・ 若年層に限らず入会者を増やしていくために、どういった働きかけが必要かという視点でもアイデアをいただければありがたい

<グループ討議 40 分>

事務局次長

各グループで出された意見の報告をお願いします

(意見報告)

- ・ 入会によって学びが得られたり、会員同士でつながれたり、会を通じて得た情報が仕事につながったりというメリットを感じられる仕組みが必要だ
- ・ 様々な職域で悩んでいる社会福祉士がいる 職場の悩みや課題を横のつながりの中で話せたらバーンアウトを防げるのではないか
- ・ 委員会活動よりもっとゆるやかな、趣味を通じたつながりがあってもよい
- ・ 逆に、業種や職種ごとに悩みを話せる場も必要ではないか
- ・ 固い組織という印象を会員にもたれているのではないか もっとゆるい雰囲気の組織にしていった方が入りやすいのではないか
- ・ ソーシャルワークに従事していて、どうしようもない悩みや課題を抱えたときに、個人として声をあげていくよりも会としてバックアップしソーシャルアクションにつなげていけると、会に所属している意識が芽生え、自身が会の中で取り組む必要があることも見えてくるのではないか
- ・ 「こんな会員がいて、こんな趣味を楽しんでいるよ」というような会員紹介を広報紙に掲載できたら、もっと親しみを感じてもらえて、会員がつながっていけるのではないか
- ・ 弁護士会でも、有志で集まってゴルフやテニス等をやっているグループもある
- ・ 会員は会からサービスを受けるだけの客体ではなく、会員自ら主体的に会に関わっていくような意識改革を促すべきではないか
- ・ 代議員制度が機能していない状況の中で、地域の中のつながりをどう作っていくかが課題だ
- ・ 来年度選挙が予定されているが、会員の投票率が低い ネット投票など、会員が簡単に参加できる仕組みを考えたい
- ・ 若い頃に会費の高さを感じて一度退会したが、地域包括支援センターに入職して横のつながりの必要性を感じ再入会した
- ・ かつては、飲み会や宿泊を伴うイベントや研修での交流によって横のつながりが生まれ、仕事上でも役立っていった
- ・ 入会促進のパンフレットを作成する際は、具体的にどんな活動をしてどんなメリットがあったかという会員の声、楽しさや一緒に活動している姿をアピールしてはどうか
- ・ 精神保健福祉士協会、ケアマネ協会、医療ソーシャルワーカー協会など、複数の団体に入会した際の会費割引制度を検討できないか
- ・ 他団体では、職場の法人が会費を負担しているケースもある
- ・ 福祉施設や地域包括支援センター、生活困窮者支援の事業所等、身近な職場に多数の社会福祉士がいる そういった方々に入会のメリットをうまく伝えていければ効果的ではないか

- ・ 大学のサークル的に楽しくやっていく面と、地域集会などを通じて地域組織をつくり、地域社会に貢献していく面も重要ではないか
- ・ アイドルのコンテンツはよくできている 当会の情報発信の参考になる点があるのでは
- ・ 年会費 15,000 円に見合うものを当会が提供できているのか 年会費を下げることも検討が必要ではないか
- ・ 会の目的を真面目に考えて、情報発信していくことが重要だ
- ・ 飲み会、スタンプラリーなど、楽しい企画も必要だ
- ・ 社会的に認知されている団体として、災害支援の活動をはじめとして団体だから取り組めることがある そういう点を PR してはどうか
- ・ 会の魅力とは何かを考えていく必要がある

事務局次長

各グループの報告を踏まえて、全体的な意見や疑問があれば発言をお願いしたい

意見

会員の声の情報発信について

- ・ 入会してよかったという会員の声をパンフレットに掲載する 単に入会を促すよりも、会に入って活動するとういう経験ができるという点がアピールポイントと考える
- ・ 就職活動にある「先輩社会福祉士の声」のようなイメージで、委員会としてよりも会員個人のパーソナリティが見えるようなアピール
- ・ 会の魅力発信として、入会や活動の敷居が高くないと伝えるため、実際に活動や交流に参加している会員の感想を発信するイメージである
- ・ そういった内容を会のチャンネルで YouTube 配信をしても面白いと感じる

福祉関係団体に重複入会時の会費割引について

- ・ 他の職能団体も入会率の悪さ、組織率の悪さは共通した課題である ケアマネ協会や介護福祉士会など近い分野の団体に具体的に呼びかけてもよいのではないか

会の目指す方向性について

- ・ 大学のサークル的に楽しくなければという意見と、一方で本来の当会の役割である地域に還元できる組織をつくっていく必要があるという意見の両方が出ていた

事務局次長

意見交換はこれにて終了し、関連する次の議題にうつる

② 事業と予算のあり方検討委員会の報告書について

説明：検討委員長

理事会資料 P1-1～1-9 の報告書について概要を説明

- ・ この報告書を委員会からの提案として理事会にバトンを渡し、委員会は解散とする
- ・ 別記 1 日程で委員会を開催し、別記 2 の各委員にご尽力いただいた 当会報酬規程に基づき会議参加の報酬を請求させていただきたい

事務局次長

この報告を受けて会長から一言お願いする

(会長)

- ・ 委員各位のご尽力に感謝する 報酬は規程に沿って請求して欲しい

- ・ 多面的な課題を整理して報告書にまとめてくださった 「談話室」「魅力アップ組織率向上委員会」の創設など具体的な提案をいただき大変ありがたい
- ・ これを実現していくには、中長期的な展望を考えていける組織をいかに作るかが重要だと考える
- ・ これまでも、いくつかの委員会は上手に人材を入れ替えながら事業を継承していると感じているが、理事の任期が4期8年までと決まっている中で、会全体としての長期的な展望を誰がどうやって担保していくかを考える必要がある
- ・ その一つとして専任事務局長の設置という話は以前からあるが、実現はしていない
- ・ 本日提案された報告書の内容を、理事会で責任をもって引き受けていく必要がある
- ・ 次回理事会(11/7)の前に、各委員会内でこの件を議論していただくとともに、年度内に会員に報告書内容を周知し意見を募りたいと考えるが、今後の進め方について意見をいただきたい

事務局次長

報告書で明確化した課題をどう改善していくか、会長の発言を踏まえて、今後の進め方について方策を伺いたい

意見

(理事)

- ・ 先程の意見交換でも会員の主体的参画を促すという意見があった 「大人の文化祭」のように会員の意見を募る場と楽しさが同居する機会を作ることで、会の魅力アップにもつながるのではないかと

事務局次長

会員の声を幅広く聞くために、HPでの意見募集、オンラインまたは会場でのイベントの開催なども考えられると思う 役員の任期も踏まえて時期や具体的な提案等があれば伺いたい

(理事)

- ・ 世話人を通じて各地域の会員の意見を拾ってもらうほか、拡大地域集会で取り上げる方法もある この報告書をそのまま投げかけると意見集約が難しくなる可能性もあるため、論点を整理する必要はあるかもしれない 「大人の文化祭」のような場も良いと思う

(ICT 担当事務局次長)

- ・ 確かにこの内容全てを投げかけるのは難しいが、一方で会員の意見を聞くことは大事なことなので何らかの形で意見を伺う場を開きたい コロナ禍ではリアルよりオンライン開催が適切ではないかと

(検討委員長)

- ・ 報告書では、理事会、委員会、事務局、会員、それぞれでの話し合いの場を提案している

事務局次長

会員向けの議論のテーマや場について、検討委員会からの提案はあるか

(検討委員長)

- ・ 今回の報告書に「一人ひとりの意見は大切にしたい」と意見を付記したが、具体的な内容や方法までは提示していない
- ・ まずは理事会で積極的に話し合う時間を作って欲しいと考えている

事務局次長

各検討委員から一言お願いしたい

(検討委員)

- ・ 今後理事会でどのように進めるかは三役で協議して欲しい 内部理事による臨時会議で会員の意見募集方法等を検討してもよいだろう 報告書を踏まえて委員会としてどうしていくかを議論し報告したい
- ・ 会員の意見を聞きつつ、理事会、各委員会、事務局で機能を改めて検討し、理事会で意思決定して欲しい また、多様な意見を積極的に受け入れていって欲しい
- ・ 検討委員会は審議機関であり、これをどうするかは執行機関である理事会の役割である 9月理事会を目標に提案をまとめたのは、来年度の予算編成方針に反映させるためである
- ・ 次回も赤字予算を編成するわけにはいかない その点を踏まえて検討して欲しい
(事務局長)
- ・ 予算は理事会承認で成立する 11月理事会に向けて内部理事による臨時会議で来年度予算の編成方針を決定し、来年度の事業計画と予算案の作成を依頼したい
- ・ なお、事業計画と予算把握シートの様式は昨年度と同じなので、取り急ぎ各委員会で準備を進めることは構わない
- ・ ただしその際は、報告書の内容を委員長から委員会へフィードバックし、委員会で取り組みを検討して欲しい
- ・ 例年は会長・事務局長で各委員会個別に予算ヒアリングをしてきたが、今年度は11月理事会後、できれば年内に内部理事をメンバーとする予算ヒアリング委員会を開催し、1月の理事会に向けて予算案を作成したい

質疑

(理事)

- ・ 予算編成方針を臨時理事会で決定したのちに各委員会が予算案を作成するのか、報告書をもとに各委員会で検討のうえで予算案を作成し、その後にヒアリングで精査されるのか
→ (事務局長)
予算上限を設定するのか、絶対に赤字予算を認めないのかなど具体的な方針は、内部理事による臨時会議を招集し話し合う 各委員会では報告書の内容を踏まえて、委員会内で来年度事業・予算の検討を始めていただきたい 予算ヒアリング前に予算編成方針を示すので、それまでにどの程度予算案を仕上げるかは各委員会に委ねる

事務局次長

予算編成方針を協議するため、改めて内部理事による会議を招集させていただくので、ご協力をお願いします

○ 各委員会報告事項に対する質疑

各委員会資料の通り

事務局次長：

検討委員会を除く各委員会より報告をお願いします なお、質疑は委員会ごとに行う

(総務委員会企画部会)

説明：部会長

- ・ あり方検討委員会の報告書を世話人会議で共有し、話し合っていく
- ・ 福祉と司法の千葉県連絡協議会による「福祉キャラバン in 安房」が11月21日(日)に開催決定し、チラシが完成した 是非参加して欲しい

質疑なし

(研修委員会)

説明：委員長

- ・ 9月11日(土)の基礎研修Ⅰで各委員会活動の発表をよろしく願います
：事務局長
- ・ 各委員会の発表者には前半に自己紹介(今の仕事、入会のきっかけ、入会してよかったこと)で当会の魅力発信をお願いしたい 後半は事業計画の説明だが、「一緒に活動しよう」というメッセージを発信して欲しい

質疑なし

(ばあとなあ運営委員会)

説明：委員長

- ・ 必須登録員研修と千葉サポート研修はオンラインで開催したが、10月の支援者のための成年後見活用講座は集合研修のため、新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し中止した
- ・ 今年度より報酬助成制度を創設し、報酬助成審査会を委員会内に組織した 組織規程第9条(別紙)組織図の改正案を提案するのでご審議いただきたい

質疑なし

(総合相談委員会)

冒頭の報告以外なし

(司法福祉委員会)

説明：委員長

- ・ 認定機構の認証を受けた研修の基礎編が11月20日から始まる
- ・ 会員各位の幅広い参加をお願いしたく、広報紙へのチラシ同封を希望する
- ・ 委員会内のICT担当委員を2名選出した 10月23日にZoom学習会を開催するのでICTプロジェクト担当のサポートをお願いする

質疑なし

(災害対策委員会)

特になし

事務局次長：

それでは、決議にうつる ばあとなあ運営委員長より提案のあった「組織規程第9条(別紙)組織図」の改正について、質疑はあるか →質疑なし

それでは、本件について賛成の方は挙手をお願いする

→賛成多数 これにより、「組織規程第9条(別紙)組織図の改正」は承認された

(事務局)

説明：事務局長

- ・ 本年5月の追加分、6月、7月、8月の新入会及び転入者について、画面共有資料のとおり報告する この方々の入会について承認をお願いする

事務局次長：

新入会及び転入者の入会について、質疑はあるか →質疑なし
それでは、本件について賛成の方は挙手をお願いする
→賛成多数 これにより、「新入会及び転入者の入会について」は承認された

○その他

(事務局)

- ・ 前回理事会で推薦をお願いした選挙管理委員は 5 名候補者がそろい、10 月の立候補者公募に向けて準備を進めている
- ・ 本日欠席の広報委員長より、次号「点と線」に各委員会の紹介文を掲載するとの報告があった

以上で、第 4 回理事会を終了する

12:09 閉会